

宇宙の知恵および人間の健康:
神質問の再考を示唆するコネクション

紙は、デイビッドA.カールソンによって用意した、哲学博士
のために
統一考えの第12の国際的なシンポジウム
“Modern科学、および統一Thought”
12月8-11、2000
タイペイ、台湾

イントロダクション

簡潔なパーソナル・ノートを提供するので、私はあなたの道楽を乞う。私は、コロラド農場で上げられて、自然にとっても近く生きていて、そして自然に科学の傾向を獲得した。同時に、カントのように、私は、夜空のスターの深く美、およびミステリーのような物(事)によって動かされたところだった。球、科学であること(人)および精神(宗教的/モラル(両方)は、私のキャラクターで彼(それ)ら自身を印象づけた。コロラド大学に付き添ったときに、私は、生物学、生理学、および化学を研究して、そして自然界の美、および複雑さによって魅了され続けた。私は、科学のアプローチを物(事)に運んだ。しかし、同時に、私は、より内部の/魂がこもった好みの物(事)で留まっている信用を持っていた。私が宗教、哲学、あるいは同様のフィールドでいくらかの(どんな)教育機関の講義を履修しなかったおよびしたがって、私は、このエリアで決して、ある重大な知的な反射をする好機を捉えなかった。従って、これらのどちらか一方の展望の間での緊張、科学であること(人)およびその魂がこもった/哲学だ私の心で決して本当にそれ自身を印象づけなかった。私は、事実で、実存的に、両方の断言を保持したにもかかわらず、現実の、科学の界の論理的な魅力、および私の内部の、魂がこもったキャラクターが短いものの物(事)の性質のここにあるための私の目的を置くことを深く反映する必要があったことを理解しなかった。このように、私が私の頭と勉強していたもの、と私が私のハートで感じたものとの間で、そこに、目立っている相違が、そして特に学究的な世界、あるいは知的な部内で、客観的に存在した。ただ後で、私がもちろん(あえて)哲学、および神学を研究したときに、それは、私には科学、および信用、および彼(それ)らの界のそれぞれの理解、がお互いと不和だったと思われたか。これを認識するようになったときから、私は、科学、および宗教の国土への関心を保持した。さらに

一層近ごろ、私は、ヒーリングの新規の分野で健康、およびヒーリング、および多くの問題への熱中している関心を保持するようになった。これらのいろいろな要因すべては、この紙のための出発の先端を構成する。

人の健康は、(今まで)ほとんどのカルチャーで長く、興味ある話題だ。いくらかの話題の最近の本は、重要な人気をなし遂げた。たぶん、新しい展望の最も有名な提案者の1人は、彼の本の、自然発生的なヒーリングにおけるハーバード、ドクター、アンドルー・ウェイルのそれだ。もう一つの有名な作者は、Deepak Chopraだ、(東展望の出身であって不老の身体、無限の心を提供する)。フィジカル身体のモダンな眺め、および“healのitself”へのその収容力は、注目に値する。健康、およびヒーリングで心によってプレーされた重要な役割は、それがもはや容易に去らせることができないほど、よく文書にされた。PNI (精神分析- neuro-免疫学である)の新しいサブジェクトは、最新(最後)のドラッグ、あるいは薬の単にフィジカル自然を越えて我々の要するに我々の心、我々の感情、感情、が評価するところでは、によってヒーリングでプレーされた役割、より多くの心の、また内部の要因、の理解を開発している。どちらが“God question.”かで最も小さくないので、心の役割の意義は、十分に実際には1ポイントの深遠な意義、単にヒーリングの国土のためにではなく、しかしより広い哲学の問題のためだ。何か目に見えないもの、すなわち心、が健康、およびヒーリングにおけるそのような重要な役割を演ずることができるという事実は、そこで我々が生きている宇宙、およびユニバーサルなあるいは宇宙の知恵の可能性の性質について新しい疑問を示唆することができる。

宇宙の知恵

期間 “cosmic wisdom,”私がこの紙でそれを使っているので、いくつかの説明、あるいは説明に値する。運よく、これは、私がすでに提供された仕事に頼っているので容易に終わった。そこは、側に概念が“anthropic principle.”を間に強い、また弱い区別と呼んだ科学の部内に出席している、この原則は、要するに、それを保持する: 自然界のある特徴がそうである “ifは、我々の存在のために要求した、それから、それがもちろんcase”であるに違いない(Greenstein、46)。その最も純粋なフォームで、それは述べる: knowers”の存在と互換性がある知っていることができる物(事)がそれらである “Theのみ(Greenstein、47)。パラフレーズすること、1つの力は、宇宙が起きて存在するただのそれが終身可能だったほどの、方法で存在すると述べる。あたかも人命が起きて存在することができたように、宇宙が正確にデザインされたかのように、それはほとんど思える。実際は、Greensteinによって見つけられた数学の偶然は、例えば、きわ

めて驚くほどだ。彼が提供する10の偶然のうちで、1(人)は、電子、およびプロトンの“Theチャージが研究所で測られてちょうど等しい、また反対だと見つけられたという事実だ。もしこの事実がなければ、起こっているチャージ不均衡は、宇宙ですべてのオブジェクトを強制するだろう?我々の身体、ツリー、惑星、太陽?violently.”を爆発する(Greenstein、256)彼はよりそれ以上それを述べる:“weは、考えられないこと(人)、深さが測れないこと(人)に直面する: 創造の瞬間[re: ビッグ・バン]それ自身。突然に、我々はそれについて何かを知っている。起きることは、最後にコスモスの現在の構成を許すようなものだった、そして、これが調節を要求したくない、1000の1つの部品、ない、1兆の1つの部品、しかし、無限の1つの部品。創造がperfect.”だった(Greenstein、135) Greensteinが物理学者だおよびしたがって、科学者として、彼は、“God question”をわきにやらなくてははいけない。しかし彼がもちろん(あえて)“The Watchmaker,”で章がある計画的な創造への参照、神疑問のどちらが支えとなるか。この章で、彼は述べる: 多くの人々が自然神学のアーギュメントとそのanthropic調査がrevealed.”を持っているソートのそれらの間に強い類似を感知した(Greenstein、122)しかし、彼は、続けて否認を許す: 全く信心深い人々への“My相談が彼(それ)らのGod.”の存在のために証拠としてこの本でアーギュメントを採用するはず(こと、予定)でない(Greenstein、192)。より強く、彼が“Iがそれがそうだった概念を受け入れることができないと付け加えるそれが人命を提出するだろうためにとっても注意ぶかくコスモスを手で作った神自身。私がsupernatural.”を拒否する(Greenstein、197)

Greensteinは、この紙で議論するために、私が試しているものに反対するようだ、しかし、私は、anthropic原理で彼の宗教/哲学に関する結論のためにではなく、彼の仕事のために彼を引用する。ふたたび、この原理は、あたかも人命が起きて存在することができたように、宇宙が正確にデザインされたかのように、それがほとんど思えることを催す。

神に関する科学の遠慮が質問するGreenstein'sへの釣り合うおもりとして、私は、別の、異なる見地への注目を描きたい。今回、この宇宙の後ろに確信という我々が可能性にとってそのそこをととてもまじめに今確信さなくてははいけないが神であることを表現するときに全く控え目でないのが、学者のそれだ。パトリック・グリーンは、また、anthropic原理を議論しているが、それが科学と宗教の間に緊張について言うようだろうものために影響される。彼が“weがモダンな界view.”のために科学のunderstanding...with過激派含蓄でほとんど静かな革命を見逃したと述べる(グリーン、28) この革命の哲学の核心が‘the Anthropic Principle’”として知られている着想である“At.(グリーン、28) start.”から複雑に微調整されたので、彼が“its結果が遠く‘accident,’であることから、人命の存在がそのために全宇宙が(今まで)そうであるようである何か

だということだという意味でそれを定義する(グリーン、28)彼は、それが有効なその“ifを争う、Anthropic原理は、中心の宇宙論の仮定をひっくり返す?ランダムな宇宙の仮定?そこでモダンな無神論の哲学がbased..”だった(グリーン、30)彼が論理的だとわかるのがちょこちょこ走っている、および時々非論理的な多くの科学者を行かせるために、それがそこに(そうすることを)威嚇するという離れて長大な証拠を説明する(べき)アーギュメントがit.”の間違いを証明するのと同じほど我々の一生にはパワフルにランダムな宇宙の無神論者概念への先天的な公約が証明したその“theを議論する(グリーン、31)彼は、“The Anthropic原理が疑問を落ち着かせないということによって結論を出す;それは、神の証明でない。しかし、それは推定を変える;それがproof.”の荷を変える(グリーン、32)もし1(人)がGod’s存在のためのdesign’によって‘argumentの決定的な証明としてAnthropic原理を取ったら、彼はその“Evenを用心させる、それは、‘God question’”を出さないだろう。(グリーン、32)彼は、悪の問題がまだすばらしい挑戦を計画的な宇宙への信念に提供することを催す。

Greensteinに答えて、私は、彼が正確に述べるので、科学が神の存在のいくらかの(どんな)証明を提供することができないということについて議論したい。科学は、目に見えること(人)を扱って、たとえ証拠が我々に宇宙が提供するもののために最も論理的な基本方針として強くデザイナーを示唆するとしても、その制限に面しなくてははいけない。これは、どこで(に)哲学が役割を果たすかだ。科学を補うときに、哲学は、とても深く人命に関わる目に見えない、触れることができない実態との取引をする。科学と哲学の間に、問題は、我々が科学と宗教の間に考えの完成したハーモニーを持っていたことがないということだ。私は、これが正確に我々が統一考えの形で今、持っているものだということについて後で議論するだろう。グリーンに答えて、私は、科学がそれが現在理解されるので、防御の今にあることについての彼の考えを補強したい。しかし、彼のもう一度、統一が思ったと主張するために、たとえAnthropic原理が続いている悪の存在の問題から考えてGod’s存在のために、それがそれによって出されない証明として取られるだろうとしても、私が欲しい概念、およびその背後にある神学に、もちろん(あえて)適切に悪の問題を扱え。このように、両方のカウントで、統一考えは、モダンであって知的な考え、および反射に多くの必要な資料を提供する。

ので私持っている提供する2眺め、学者哲学者によるAnthropic原理、科学者によるものおよび1(人)と関係があって、そして異なる道で、私がそうしたいにもかかわらず彼(それ)らに用心ぶかい(べき)両方を見つけられるのでその後ろに、科学がそれなりにすることができないエリアで、それ以来の歩みが目に見える、また感知できること(人)を扱うという理由で、anthropic原理としてこのようなアイデアの公式化を考慮に入れることが宇宙にとって避けられなかった私のコンテンションを詳しく説明するこ

とによって続け、しかし哲学の論理がある信用度があるとすれば、(そう)であるに違いない場所へある現実、ほんとうに、もちろん(あえて)コスモスをデザインしたある宇宙の知恵は人命が起きて存在するだけでなく発展することができたほどの、道にあるか
見たところでは千差万別、フォーム。これが可能だという理由で、それは言われるだろう、そのコスモス自身は、健全な私がその宇宙をいうときに、私が意味する何がするかがそうである今の “healthy.”だ?

コスモスは、それ自身で健全にしている巨大な有機体のようにだ。惑星は、数学的に確かめられた軌道の天を通して動く、いくらかの(どんな)生態系は、左へ、自分だけに、ある道で発展するだろう、そして、汚染は要因でない。ハドソン川は、私のニューヨークの家の近くで、しばらくの間それを疫病にかからせた汚染のそれがそれ自身を今、清めているほどの、道で世話をされた。その問題、左のための川、あるいは大洋が自分だけにそれ自身を清潔にするだろうことが一般的な知識だ、汚染、およびその環境のセグメントは、もちろん(あえて)、長い間に浄化質を持っている。要するに、環境は、その潔白、および健康を維持する内蔵機構を持っているようだ。生態学の引き継ぎは、よく文書にされた分野だ。人間が現場で起きて彼(それ)らの産業およびすべてのその副産物を開発するときに、問題は始まる。それでもなお、環境がほとんどそれ自身を清潔にすることができる、汚染。しかし、一旦ポイントが達されれば、生態学のバランスが壊れる場所に下に、限界が達されるか、および環境の収容力は、超過される、それから、健全な環境は失われる、そして、不健康なあるいは病気にかかっている環境は、生ずる。師月は、(今まで)近ごろ、環境面で健全な自然のhumanity'sラストとりでの1つとしてブラジルのPantanalエリアを促進している。ニューヨークを訪れた誰(か)は、近ごろ、人の人口の不健康な結果を見るだろう。

環境は、それ自身に去られる、そして、人の汚染が最小に保たれるときに、環境が無害の物質(取り除くことができる)に達するまで実際にはよくない化学薬品、廃棄物、などを取り除くかまたは壊すためにそれ自身、それ自身をより健全にするために、を清潔にし始めるという事実は、熟考にふさわしい。そこでそれが機能しなければならなかった初期の状態を維持するための(それ自身を健全にするための)清めのための機構がシステムに組み込まれるようだ。一種の宇宙の機構、あるいはユニバーサルな知恵でこれを構築されたと言わせてください。我々を今、越えさせて人体を熟考せよ。

私は、このディスカッションを新しいレベルに運びたくて、よりそれ以上、人体がそれ自身でこの宇宙の一部であるという理由で、この宇宙の知恵が重要な道で我々とつながっていると主張する。そこでこれが考えられるだろう片道は、ユニバーサ

ル-個々のパラダイムと呼ばれるかもしれない。このパラダイムによると、ユニバーサルな知恵は、それぞれの人間でその明示で個性を与えられる。この概念は新しくない; それは、人間が大宇宙の小宇宙だという意味で中世で表された。しかし、私は、私自身をわずかに追い越している。役割が人の健康を維持するときに人の心によってプレーしたとあって、我々がこの宇宙の知恵に関していくつかの並列、あるいは含蓄を描くことができるかを確認しましょう。

人の健康

それ自身のデバイスに残されたなら、人体がそれ自身でよくなるための重要な収容力を持っていることが、今十分に認められる。多くは、単にベッド、および休むことを買いためすることにうんざりである場合には経験を持っていた。1(人)は大いに食べない、そして、飲料のみは水をまくかまたはジュースを絞る。身体がそれ自身を治す、1ポイントまでの病、および病気。もしそれが十分な強さを持っていれば、その免疫システムは、しばしば危ない病原菌に逆らって戦うさらに能力がある。人々は、自分自身で健全にしているよい方法として今日、免疫システムを強くして調和させることを支持する。それ自身で機能することを十分に、すなわち健全に保つためのその収容力を失うために一旦我々の免疫システムが弱いあるいは効果がなくなれば我々の身体が始めるどちらの方法。我々がそれを弱くする方法は、化学薬品、ドラッグ、薬、抗生物質、etcで上にその動きを妨げることによるものだ。しかし、それは、単にこの流行で働く我々の免疫システムでない。十分に認められた今は、このプロセスで心によってプレーされた深遠な役割だ。我々の考え、感情、希望、感情、すべては、効果を発揮する。PNI(精神分析- neuro-免疫学である)の新規の分野は、健康で十分な証言を心であること(人)のパワーに提供する。“The免疫システム、body’sは、病気に対して防御の綱を向かう; 心臓血管のシステム; 脳、および神経系?すべて独立して探査された。心理学者、および免疫学者との神経科学者がpsychoneuroimmunology、あるいはPNI、body’sを探査する分野のthe...nameで新しい科学の訓練を鍛造した近年、しかしながら、最も微妙なinterconnections.”で(Borysenko、 1 2)実際は、心によってプレーされた役割は、決めているone’s健康における有力な要因かもしれない。“Weがそれに(よって)信仰、確信、およびイマジネーションが実際にはhealing.”のミステリーをアンロックすることができる機構の科学の理解の(から)新しいレベルに入っている(Borysenko、 1 0)運わるく、多くの人々は、多くの理由、あるいは意気消沈、神経症、および心の病気を提供する社会に出会う。しかし、Borysenko’s答え、彼女のメッセージ、は、それだ: “weはずでに完全だ?我々の必須のコアは、静かな、また全体だ。ヒーリングの仕事が離れて我々を全体、およびlove.”の我々の真実の自然を知らなく保つ恐れの本棚、および過去の体の調整をむくことにある(Borysenko、 4)確信、イマジネーション、真実の自然、全体、およ

び愛のような条件は、それにも関らず確かに科学の概念でないで、しかし重要な概念だ。確信、あるいは愛のよくなっているパワーは、モダンな人工の、化学的に満載したドラッグよりももっと多くの結果を持っているかもしれない。

適切なこれらの2ポールで、anthropic原理の科学の概念が人のヒーリングにおける心の宇宙、および重要性中働いてある宇宙のあるいはユニバーサルな知恵の可能性をオープンすると、私は、いくつかの可能なコネクションを作りたい。多くのこれが推測によるだろうにもかかわらず、私がそれを思うコヒーレント何で私が言うかおよび十分なローカルな熟考を支える力を持っている。

コネクション

もし我々が今、anthropic原理の熟考に戻って来れば、私は、我々が正当と認め得るコネクションを確かめることができると思う。第1に、サポートを手に入れるレベルに人の心と単に今理解されている人体、コネクションとの間のコネクションがある。第2に、宇宙のあるいはユニバーサルな心、あるいは知恵とフィジカル宇宙、あるいはコスモス自身の間にコネクションがある。または、それを堅固な条件に入れるために、宇宙の心身。これは、人の心身よりもはるかに多く新案だ。しかし、私は、それがGreenstein's 10偶然のそれといった、それは積みあげられることだという証拠を考慮したある信用度を持っていると思う。順にこれらのコネクションのそれぞれを熟考しましょう。

人の心(目に見えない)と人体の間に、まず第一に、そこに、はっきりしているコネクションがあるというほとんど疑いが思えない、(目に見える)。発達している、とても満足な彼(それ)らの誰(どれ)でない多くの異なる展望で、心-身体、あるいは心-頭脳コネクションは、(今まで)ほとんどの哲学の経歴のために興味ある1ポイントだ。1(人)は、完全に彼(それ)らを分けたデカルト、例えば、のことを考える。もし1(人)が過去のマナーで疑問に近づけば、ほとんど進歩はあることができない、哲学的に。私は、問題がそれが容易に扱うことができないほど、抽象的になると思う、そして、私がそれを見つける、制限されているヘルプ。むしろ、私は、統一考えの新しい展望の方へ向くだろう、(私が感じるところでは、それがこの地球上でより幅が広いコンテキスト、創造、あるいはつまり人間の目的生活の神聖な設計のそれに心-身体コネクションを置くという理由で貴重な洞察力を提供する)。特に、もし1(人)が健康、およびヒーリングのエリ

アから証拠を熟考すれば、心と身体との間の深い仲の、また近いコネクションは、理解するのがはるかに簡単になる、そして、なお、このような科学の証拠は、さきへ遠近法のセットをもつ完全なハーモニーにある。我々は、決して完全な科学のマナーでそれを理解しないだろう、しかし、それが物(事)の全部の計画のコンテキストで見られるときに、我々は、論理的なマナーで心-身体コネクションを理解することができる。今によって、私は作るために私が望むその他のコネクションの方へ向くことができる、宇宙の心身のそれ。

心と宇宙の身体との間のコネクションは、とても直ちに明白なように見えない、大規模に、(この世に、かつ空間である)以外はしかし、私は、それがちょうど重要だとしてあるということについて議論したい。宇宙の心の間でこのようなコネクションを明確に述べることは、まことしやかか、そしてそれは、目に見えなく(しかし人々がanthropic原理のような物(事)を引き出すことができるほどの、道のどちらの乗客名簿)、およびコスモス自身だ?アーギュメントのために、それ自身で宇宙のあるいはユニバーサルな心と宇宙の間にこのようなコネクションがあると仮定しましょう。私は、このような仮定が汚染、あるいは不潔(化学薬品、etcだ。)のどちらの宇宙が清潔にするか自身でマナーに関して上記の証拠から考えて受け入れられると信ずる。なぜ逆方向に動きよりも汚染、例えば、をきれいにすることの方向への動きが、あるか?なぜもしそれ自身の生まれつきのシステムへの左が別になるよりはそれ自身を清める傾向があれば海をする?ここで(に)、私は、宇宙の心、コスモス(特に浄化自然のそれら)ですべての活動を案内する知的な知恵、とコスモス(この広大な宇宙)自身の間にある型のコネクションを断定している、(この宇宙の知恵の“body”のようにそうであるのがあらかじめ知られていることができる)。この感覚で、我々人間は、コスモスの有機体(身体)の単細胞のようなそれぞれだ。

私は、もし(人の心身、とユニバーサルの間でのそれとの間で、心身がそうである)これらの2つのコネクションが最小限の、まことしやかな、その時のそこで存在すれば神を考え直す(べき)十分な理由が質問すると思う。私は、両方がまことしやかにされたと信ずる。anthropic原理を取り巻くディスカッションは、確かに、まことしやかなカテゴリーにフィジカル宇宙と本当の心のレベルに近づく宇宙の知恵との間の可能なコネクションを置いた。おまけに、健康、およびヒーリングの国土からのマウントしている証拠、および経験から考えて、人の心と身体との間のとても現実のコネクションは、まことしやかなカテゴリーで固く置かれた。問題を考え直すことができる立場にある神疑問に関して、私が我々が立っていると思う今。

神疑問のための含蓄

我々の心(目に見えない)が我々の健康を維持する役割をとてもうまく果たすことができるという事実は、コスモス自身の性質について我々が頼むだろう新しい疑問を示唆する。人のフィジカル身体は、それ自身でフィジカル宇宙の一部だ。それは、地球がするのと同じ元素、化学薬品、および選挙人を含む。しかし、その感情、感情、および確信に、それは、明瞭に、目に見えない心の影響に応える。実際は、証拠は、心の影響が維持しているone'sフィジカル健康における有力な要因であることをマウントしている。1(人)が思っただけで感じる方法は、フィジカル身体の状態に莫大な影響を与える。1(人)は、積極的な思考、視覚化、etcを通して癌をさらに治療することができる。

これは、明確に述べられたdoesn'tとしてのanthropic原理がまたある型の優れている心、あるいはインテリジェンスの存在、あるいは現実を示すかどうかとたずねるために、我々を導く?確かに、伝統的な宗教は、たいていの場合は、彼(それ)らが神、アラー、仏自然、etcとしてより特定の、および価値-満載した条件で単に“mind”のような中立の期間を断定するかもしれないにもかかわらず、その事件であるために、これを保持した。

1(人)が一つの葉(で)さえも複雑さから太陽の回りの惑星、および想像できないほど大きい銀河のキャラクターの革命へ、より科学的にコスモスの性質を試験して活動のめざましい一様性を見つけるときに(いくらかの(どんな)物理学者があなたに話さるうので)私は、優れているインテリジェンスの存在の可能性を熟考することがいくらかの(どんな)知的な人で現職だと思う。グリーンが彼のエッセイ、先天的な“theで、ランダムな宇宙の無神論者概念への公約が論理的だとわかるのがちょこちょこ走っている、および時々非論理的な多くの科学者を行かせるほど、我々の一生にはパワフルなことがわかったと述べるので、それがそこに(そうすることを)威嚇するという離れて長大な証拠を説明する(べき)アーギュメントがit.”の間違いを証明する(グリーン、31)。これで、事件がそれだという長大な証拠は、anthropic原理によって与えた、そして、私がそれが奇妙だったことがわかる科学者(科学の真理を扱うはずである)がこの原理のいくらかの含蓄を適応させるトラブルに遭っている。トーマス・クーンによると、科学のパラダイムが科学によって発見された新しい証拠に宛てそこねるときに、それは、1(人)が科学が我々に与える現実を適応させることができる新しいパラダイムを思いつくときまで一般にいきわたっているパラダイムを調節する時間だ。パーソナル偏向は、科学の企業の一部であるはずでない。したがって、ふたたび、いくらかの(どんな)知的な人は、宇宙のデザイナー(あるいは創造者)のそれを含んで、少なくとも新しい反射を証拠に与えて、可能性を熟考すべきだ。何人かの物理学者は、そうすることがそれに彼(それ)ら

が直ちに認める科学、状況の活動範囲を越えて横たわるにもかかわらず、このような含蓄を断定した。(例えばGreenstein)。

哲学者は、一方では、どんな用心もなしで同種の推測に入るときに楽しむ。実際は、神疑問のための私の含蓄を引き出すための哲学者によって支持されるように、私は、理論のポジションに頼る予定だ。Sang博士のフン族リー、統一考えの組織化する人、が彼の理論でコヒーレント流行で問題がこの紙で上げたと理解することに上品なパラダイムを提供する、そのオリジナル画像(物陰だ、統一考えの要点)。

解説であって模型の統合している科学、および信仰

まだ信仰の現実を考慮に入れている間に、オリジナルの画像のLee's博士理論は、科学の事実を敬う理性的なパラダイムを提供する。これは大望があるステートメントだ、しかし、私は、それが防御することができると思う。リーとして、州: (“Unificationが思うに) God.”で始まる(物陰であって1) “Weが神 ‘Original Image,’の属性を呼ぶそして、我々は、前提からその神をスタートするかがデザインしたここでのオリジナルImage’.”The論理的根拠の ‘Theoryがそうであるそれらの属性に関する理論を呼んで、宇宙を作り出した、それから、我々は、彼自身の自然に頼ることによるいくらかの(どんな)アーティストもそうするだろうように、彼がそうしたことを催すことができる。その時神の性質を反映して、宇宙が品質を明らかにすべきだということの意味する。リー博士は、すべてのレベルの人間中働いて我々が見るユニバーサルな法律、および原理に関して宇宙の性質を試験する。統一考えは、師サンMyung月の宗教的なあるいは神学の教育の哲学の表現だ、したがって、神学の公式化は、統一考えの基本方針だ。リー博士は、それが人の知力によって哲学的にすなわち、合理的に理解することができるので、神の性質の哲学の写真を記録する。それから、彼は、実際は、理論が合うかを確認するために、宇宙で働いて自然、および原理を分析する。2個(人)の間で完成した一致がある: 理論、および現実。理論の経験を基礎とする立証は、自然界の近い観察(観測)によって生ずる、そして、断定される理論的説明は、操縦としてそこで自然の、社交的な、そして心理的な界が経験される実際の道の上品な、またコヒーレント説明、および論理的根拠を提供する。要するに、理論、および現実は、合う。理論は、適切に、我々が経験する現実、および我々の現実の経験が断定される理論に忠実なことを説明する。このように、オリジナルの画像の理論は、それを通して理解する(べき)パラダイム、および我々の界、および宇宙との取引として取ることができる。うまく説明して予言してそして我々の経験が実際には何かと理解する限り、それは、パワフルなパラダイムとして立つことができる、科学的に、かつ哲学的に。ということは神問題に対する統一考えによって保持さ

れた地位があるとすれば、そのそこは、実際は、宇宙のデザイナーだ、神問題の重大な、また真心がこもっている再考を提供することは、いくらかの(どんな)知力で現職だ。この問題は、もはや軽く去らせることができない。ますます、証拠は、それがそのようなそうしないことをそれがそうであるよりもユニバーサルなデザイナーの存在を信ずるのが道理に合っている、また論理的なより多くが信じるということであることを示す。信じることは、信仰の人にとって簡単だ、しかし、科学者のためにさえ、もし1(人)が科学の方法に付着すれば、疑問は、真心がこもっている注目が与えられるに違いない。そうでないときは、科学はその信用度を失う。

結論

もしコスモスに優れているインテリジェンスがあれば、いくつかの明らかな疑問は現れる: その性質は何か?その目的は何か?それをするものは、私に関係がある? 科学者さえも、彼(それ)らの私生活をこのcosmis知恵の現実と提携させなくてはならない。そうする(べき)いいえは、愚かしさだ。

この宇宙の知恵がそうであることがするために我々に電話すると、私がそれを信じる我々の完全な可能性に達するよう努力するはず(こと、予定)だ。我々は、我々の制限されている展望のために我々自身を制限する。我々は、理性的な、感情的な、そして意志の存在だ、そして、我々は、我々の性質のこれらの3つの様相を結合するよう努力する必要がある。我々がこの職務をなし遂げるので、私は、おそらく、神疑問が疑問ののをやめるだろうと思う、そして、神の現実は、我々への現実になるだろう。私がこれをいうという理由で人が絶対の愛の現実を経験するようになるので、one's生活は不可避免に変形させられる。科学は、それがそこで我々が生きている宇宙についてだんだんと我々が心地よい生きている状況を作り出すのを手伝って我々が理解するのを手伝うので、いつもその場所があるだろう、(そして我々自身の健康、およびヒーリングの場合のフィジカル身体について)。しかし、信仰は、我々の人生で、および特に健康、およびヒーリングの国土でまた、その重要な場所がある。

私は、また、我々がこの宇宙の知恵でだんだんと我々自身を一系列に並べるので、我々が長期間の集会的な知恵に頼る機会を持つだろうから、科学、および薬の我々の開発が急速に進むだろうと信ずる。

